

令和 2 年 7 月 6 日現在

機関番号：57403

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2017～2019

課題番号：17K02581

研究課題名(和文) 現代エスニック・アメリカ女性文学における娘の成長

研究課題名(英文) Daughters Searching for Their Identity in Modern Ethnic American Literature by Women

研究代表者

楠元 実子 (Kusumoto, Jitsuko)

熊本高等専門学校・リベラルアーツ系人文グループ・教授

研究者番号：60353348

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 1,800,000円

研究成果の概要(和文)：本研究では現代アメリカ合衆国の複数のエスニック女性作家の作品における娘のアイデンティティの問題と成長を分析した。それぞれのエスニシティの文学の代表作品において、娘にとっての母親との関係性や民族的なルーツの位置づけ、アイデンティティ獲得過程といった観点から考察し、新たな解釈や事実の発見を行った。現地での文献調査や撮影、学会での発表や意見交換で内容を補足した。

本研究の成果については国内論文1本、国内学会発表3本において報告を行い、さらに最終年の研究は今年度の学会での発表が決まっている。

研究成果の学術的意義や社会的意義

娘の成長という切り口からアメリカにおけるエスニック女性文学の研究を行ったが、日本ではまだこの分野の研究が少ないという点で、学術的な意義があると考えられる。アイデンティティ探求や女性の諸問題は女性学、心理学、文化人類学などにもまたがる普遍性を持った問題であり、移民で成り立つアメリカの文学を検討することは、変化を続けるグローバリズムや現代を考えることにもつながり、多様性を広げるという観点からも社会的にも意義のあることだと確信している。

研究成果の概要(英文)： This project aimed to examine identity issues and mental growths of daughters in American ethnic literature by women. New possible readings and findings were considered from the viewpoints of mother-daughter relationships, ethnic roots, and identity searching. Archive research and photo/movie shootings in the US also helped this project.

The results of this research have been published in one academic paper and presented at three academic conferences. The outcome of the last year's will be presented in the school year 2020.

研究分野：アメリカ文学

キーワード：アメリカ文学 エスニックマイノリティ 母娘関係 アイデンティティ 女性文学

様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19 (共通)

1. 研究開始当初の背景

1960年代の公民権運動やマルチカルチュラリズムを追い風にして、アフリカ系、メキシコ系、カリブ系、中国系、日系、ネイティブ・アメリカン等のエスニック・マイノリティのアメリカ人作家たちが活躍しはじめた。さらにセクシズムという点で二重の重圧を受ける女性の視点で書かれた女性文学がアメリカ文壇で勢いをもち、日本においても翻訳本や研究書が発刊され始め、学会でも研究対象として扱われ始めている。

複数の国や世代の考えの違いを背負い、複数の圧力を受け、越境を繰り返すことで認識せざるを得ないアイデンティティの問題が、彼女たちの作品の主要なテーマとなっている。グロリア・アンサルドゥーアは複数の陣営を背負う自由な主体としての「メスティーサ(混血女性)の意識」(1990)という積極的なモデルを打ち出した。絶えず変化が進行中である彼女たちのアメリカン・アイデンティティは、トランス・ボーダーが進む現代社会において注目を集めている。

日本においてはこの分野における批評や分析などの文学研究書はまだまだ数が少ない。アフリカ系の研究書はあるものの、アジア系とネイティブ・アメリカンの研究書はわずかであり、メキシコ系やカリブ系アメリカ人の研究書については、ほぼ手付かずの状態と言え、3つ以上の複数エスニック女性作家の作品を横断的に論じている研究書はほとんどない。本研究者は包括的なエスニック・アメリカ女性文学の比較考察を目指し、その基礎研究として、博士論文(2009)で2つの異なるエスニシティ作品の比較分析を行った。それまでに行った他のエスニシティ作家の作品研究と合わせ、さらに対象を広げた後、現代エスニック・アメリカ女性文学の研究書としてまとめる必要があると考えていた。

エスニック・アメリカ文学アンソロジー教科書については、ノートンの *New Worlds of Literature* があるが、日本人の使用者にとっては作品の量や TM の不備などで使いにくい。日本にある文学テキストと注釈のみの構成の教科書は一般学生の興味を引きにくく、異種混交のアメリカの今を伝えるのに、エスニシティにかかわる資料、動画、オンラインエクササイズ等を付けた日本人の大学生用の文学教科書があれば、現在のアメリカへの興味も喚起できる。本研究期間においては文学研究の副産物として、ビデオクリップ教材のプロトタイプが完成できると考えた。

2. 研究の目的

現代アメリカ合衆国のエスニック女性作家の作品における娘のアイデンティティの問題と成長を分析する。娘の成長という切り口からエスニシティをまたいだ文学研究を目指し、アイデンティティ探求や女性の共通の問題という一般性、それぞれが背負う民族の文化や歴史という特殊性などを明らかにする。移民で成り立つ現代のアメリカ文化とその背景を伝えるビデオクリップ教材の作成も合わせて行い、最終的には日本での現代エスニック・アメリカ女性文学の認知を目指すことを目的とする。

3. 研究の方法

本研究を完遂するための方法としては、複数のエスニック・アメリカ女性文学の作品について

- (1) ターゲットにする文献の選定
- (2) 文献収集と資料整理
- (3) アメリカのアーカイブにおける文献閲覧と収集
- (4) 文献資料の読み込みと分析による学会発表と論文執筆
- (5) 関連映像の撮影とビデオクリップ編集

を行い、学会や現地の関係者との意見交換、インタビューで補足することとした。

- (4)におけるそれぞれのエスニシティの作家の代表作品の分析においては、娘にとっての
母親との関係性
他の家族の役割
民族的なルーツの位置づけ
アイデンティティ獲得過程

といった観点に注目して分析を行い、それぞれの発表後に全体を横断的・包括的にまとめることを見据えた研究を行うこととした。

4. 研究成果

研究成果は下記の5点であった。

(1) アフリカ系アメリカ人の文学

本研究期間中の2019年8月に逝去し、最後の小説となったトニ・モリスンの *God Help the Child* の母と娘の係に焦点を当てて分析を行った。作品分析と並行して、プリンストン大学図書館にて対象作品の全マニユスクリプト調査を行い、モリスンの手書きメモの入った原稿(データ)と、彼女が使用した参考資料(紙)を時系列に調査し、タイトルの変更、登場人物の名前の変更、作品構成の変更や作品が創作される過程など、本研究者が新たに発見した事実を考察を加え発表した。また、作品の娘3名の虐待からの回復過程を類型化し、虐待 沈黙 怒りの共有 自分との対決 再出発という成長過程をたどっていたことを明らかにした。

さらに母親からの愛情が得られない娘達の「怒り」を切り口にして、娘達の成長と作家の願いについて論じた。娘達の怒りの内容とその乗り越え方について、ジュディス・ハーマンのトラウ

マ理論、カール・ロジャーズのカウンセリング理論を援用して分析したが、娘達は怒りの爆発と暴力で沈黙を破り、トラウマ語りとカウンセラー役の助けによって自己を再構築していた。また、現地のマニスクリプト調査で分かった事実からタイトル分析を加え、モリソンが人種を越えた連帯と子供の自助力を願って表現した作品と結論づけた。

Schomburg Center for Research in Black Culture において他のアフリカ系女性作家の文献調査を行い、アフリカ系の文学作品に関連した場所や物の撮影を行った。

(2) アジア系アメリカ人の文学

日系アメリカ人の女性作家シンシア・カドハタの *The Floating World* において、カドハタが描いた祖母・母・娘と3世代にわたる機能不全家族の不安定要素を抽出し、それが娘のアイデンティティ確立にどのようにかかわってきたかを発達心理学のエリック・エリクソンのライフサイクル論を援用しながら分析した。主人公の娘が、発達段階ごとで家族が与えてくれる愛情などのプラス面と環境の不安定性からくるマイナス面といった家族の二面性を理解し、また祖母や実父が書き残した日記やメモにアイデンティファイしていくことでアイデンティティを確立してきたことを明らかにし、不安定性の持つ普遍性についても合わせて考察した。

ほかにも AALA フォーラムでの意見交換、LA の全米日系人博物館での映像資料収集、リトル・トーキョー、チャイナ・タウンなど文学作品の舞台撮影などを行った。

(3) メキシコ系アメリカ人の文学

テキサス州立大学サンマルコス校においてメキシコ系アメリカ人の女性作家サンドラ・シスネロスのコレクション調査を行った。念願だった彼女の未発表作品を手に入れ、書簡や資料から現在までのそれぞれの作品の執筆背景や状況、purple house 論争などについて貴重な情報を得ることができた。ここで得た情報からシスネロスの近年の作品傾向などについて第 153 回熊本アメリカ文学研究会において口頭発表の予定である。

(4) カリブ系アメリカ人の文学

ハーバード大学において、カリブ系アメリカ人作家ジャメイカ・キンケイドペーパーのアーカイブ調査を行った。作品資料のみならず、家族の写真や日記、手帳などを含む膨大な量の資料に目を通し、執筆背景にある母親との関係性について、新たな事実や知見を得た。娘への遺書などの資料の開示要求は作家本人から却下されたものの、有用な情報を得ることができた。その執筆量と書き直しの回数の多さに驚嘆しながらの資料閲覧・収集であり、研究期間の最終時期の調査となったため、現在、得た資料を整理し、論文にしようとしているところである。

(5) 映像教材作成

文学作品に登場するアメリカ文化を象徴する商品や作品の舞台、それぞれのエスニシティの文化理解や英語学習に使える素材の撮影を行った。語学学校職員、聖職者、文化教育コーディネーターなどの人々に対して、言語、文化、母親との関係性についてなどのインタビュー撮影を行った。ビデオクリップ編集を行い、文学/英語教材のプロトタイプを作成した。

アメリカでの文学研究については、受入機関と本研究者の都合などによって、当初の予定を入れ替えるなどの変更を余儀なくされたものもあったが、3年間全体を通して、当初の目的をほぼ達成し、一定の成果を出すことができた。新たに得た訪問機関との繋がりや人脈によって、今後、文学研究を継続して行う基盤ができた。アーカイブ調査においてはアメリカ国内であっても入手が難しい資料を得ることができ、作家の執筆過程を文字通りたどることができた。今後は包括的分析部分を発展させていく。教材については、研究期間終了後に双方向型ビデオの有用性に気付き、クイズ埋め込み型ビデオ教材の作成と比較的検討を行っている。使用評価を行い、学会発表につなげていく。本研究で得た機材とファイル、身に付けた映像編集技術は、コロナ禍のオンデマンドビデオ教材作成やオンライン授業で、思いがけずフル活用することとなった。本研究機会を得たことに重ねて感謝したい。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計1件（うち査読付論文 1件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 0件）

1. 著者名 楠元実子	4. 巻 第61・62回合併号
2. 論文標題 God Help the Childにおける娘達の怒りとモリスンの願い	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 熊本大学英語英文学	6. 最初と最後の頁 p.53-68
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計4件（うち招待講演 0件 / うち国際学会 0件）

1. 発表者名 楠元実子
2. 発表標題 Sandra Cisnerosの作品傾向の変化
3. 学会等名 第153回熊本アメリカ文学研究会(熊本大学)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 楠元実子
2. 発表標題 God Help the Childにおける娘達の虐待からの回復
3. 学会等名 第62回熊本大学英文学会(熊本大学)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 楠元実子
2. 発表標題 Cynthia KadohataのThe Floating Worldにおける娘達の成長と家族
3. 学会等名 第145回熊本アメリカ文学研究会(熊本大学)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 楠元実子
2. 発表標題 Toni MorrisonのGod Help the Childにおける母娘関係と娘の成長
3. 学会等名 第138回熊本アメリカ文学研究会(熊本大学)
4. 発表年 2017年

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

九州アメリカ文学会のKALS NEWSLETTER p.3で研究発表報告
http://www.kyushu-als.org/userfiles/news_letter/DMq9W0hXSLgVz6wRpGrh.pdf

6. 研究組織		
氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考